

分野の共働で見えてきたこと

定延利之（京都大学）
丸山岳彦（専修大学）
遠藤智子（東京大学）
松橋瑞貴（日本大学）
林 良子（神戸大学）
モクタリ明子（富山県立大学）

1

分野間の交流 視野の広がり 観察の深まり

- 1：記述言語学とコーパス言語学
- 2：言語学と会話分析
- 3：言語学・言語教育学・言語障害研究・音声合成

2

分野間の交流 視野の広がり 観察の深まり

- 1：記述言語学とコーパス言語学
- 2：言語学と会話分析
- 3：言語学・言語教育学・言語障害研究・音声合成

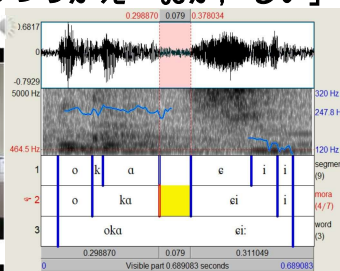
3

①先行研究「日本語は語中で発音がとぎれない」

- [On Japanese] ... speaker may pause or insert an interjection after a phonological word **but not within a phonological word**. (p. 54, Note 1)
[Jarkey, Nerida. 2020. Words in Japanese. In Alexandra Y. Alkhenvald, R.M.W. Dixon, and Nathan M. White (eds.), *Phonological Word and Grammatical Word: A Cross-linguistic Typology*, pp. 39-77, Oxford: Oxford University Press.]
- Placement of a pause may be indicative of a phonological word: speakers may pause between words **but not within a word, as in Japanese ...** (§ 3 of Chapter 3), Murui (§ 3.4 of Chapter 5), Hmong (§ 2.2 of Chapter 8), and Makary Kotoko (§ 3 and 8 of Chapter 9). (pp. 3-4)
[Alkhenvald, Alexandra Y., R.M.W. Dixon, and Nathan M. White. 2020. The essence of 'word'. In Alexandra Alkhenvald, R.M.W. Dixon, and Nathan M. White (eds.), *Phonological Word and Grammatical Word: A Cross-linguistic Typology*, pp. 1-24, Oxford: Oxford University Press.]

4

とぎれ型・続行方式のつかえ「おか、しい」



https://www.speech-data.jp/chotto/2011_sub/201101010.html 02:30-02:31

5

②先行研究「日本語は語の内部で発音が伸びにくい」

	語頭	語中	語末
スウェーデン語 (Eklund 2001; 2004)	30%	20%	50%
アメリカ英語 (Eklund 2001; 2004)	30%	20%	50%
トクピシン (Eklund 2001)	15%	0%	85%
中国語 (Lee et al. 2001)	4%	1%	95%
日本語 (Den 2003)	10%	5%	85%

Den, Yasuharu. 2003. Some strategies in prolonging speech segments in spontaneous Japanese. In: R. Eklund (ed.), *Proceedings of DiSS 2003, Disfluency in Spontaneous Speech Workshop, 5-8 September, 2003, Göteborg University, Sweden*, pp. 87-90.

6

延伸型・続行方式のつかえ「けーさ」

そんなとき、月曜日の夜に、主人から電話がかかってきて、あらけーさ、あはすやのなんやろなーさと思つて、出たら、けーさどうや？

https://www.speech-data.jp/chotto/2011_sub/2011007.html 00:59-01:01

7

とぎれ型と延伸型の「中和」の例「あい、だに」

2011年70番 (00:08-00:09) /aida/ [aida]

8

とぎれ型と延伸型は子音次第で「中和」するはず

次発話	初頭戻り方式	続行方式
元発話		
とぎれ型	"A, AB"	"A, B"
延伸型	"A: AB"	"A: B"

破裂音・破擦音の直前のポーズは、とぎれ型とも延伸型とも解釈できる。計量の際の基準は？

9

分野間の交流 視野の広がり 観察の深まり

1: 記述言語学とコーパス言語学

2: 言語学と会話分析

3: 言語学・言語教育学・言語障害研究・音声合成

10

「わたしのちょっと面白い話」コンテスト (2010～)

11

「わたしのちょっと面白い話」コーパス (全647話)

<http://www.speech-data.jp/chotto/history.html>

コンテスト (年度)	母語話者の作品	学習者の作品	字幕
第1回 (2010)	17	—	日・英・仏・中
第2回 (2011)	72	—	日
第3回 (2012)	43	—	日
第4回 (2013)	44	—	日・露
第5回 (2014)	11	51	日
第6回 (2015)	23	51	日
第7回 (2016)	11	42	日
第8回 (2017)	12	63	日
第9回 (2018)	16	20	日
第10回 (2019)	15	45	日
第11回 (2020)	10	21	日
第12回 (2021)	10	42	日
第13回 (2022)	8	20	日
計	292	355	

12

「ちょっと面白い話」コーパスを観察していたら、
不思議なことに気づきました

13

前提：誰がメインの話し手かは明確

- 日本語母語話者の「面白い話」は体験談ばかり。ジョークはない。

[定延利之 2018「序章 限界芸術「面白い話」と音声言語・オラリティ」定延利之（編）『限界芸術「面白い話」による音声言語・オラリティの研究』pp. 1-33, 東京:ひつじ書房]

- 体験談では、体験者がメインの話し手になる。

"In talking of experiences, other participants may take turns, but the speaker role automatically returns to the narrator" [Sacks, Harvey. 1992. *Lectures on Conversation*, Volume II, edited by Gail Jefferson, with an introduction by Emanuel A. Schegloff, Cambridge: Blackwell]

- 他人の体験談に自分の体験談をかぶせて、話を奪ってしまうことは、現実の会話では生じ得るが、コンテストでは生じない。

14

③メインの話し手は他の者より遙かに非流暢

	メインの話し手	それ以外の話し手	比率
フィラーの頻度	2,454	13	189:1
文節連続発話	62	0	



2011年5番
01:13-01:28

15

考えられる原因

- 発話の量
- 発話の長さ
- 作業内容

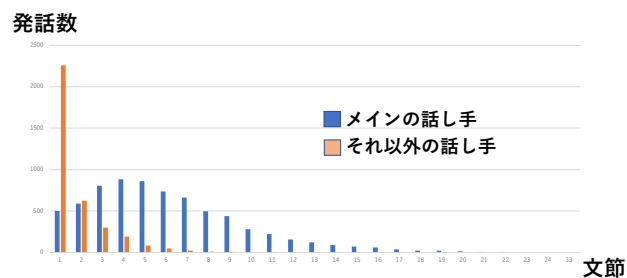
16

発話の量

	メインの話し手	他の話し手	比率
発話時間	7:20:28	1:08:42	6.4:1
文節の数	43,237	6,438	6.7:1
書き起こしの行数	7,107	3,571	2.0:1

17

発話の長さ



18

メイン以外は長く話しても概して流暢

2011042 (01:45-01:53)

2013015 (00:32-00:35)

2013039 (00:39-00:45)

19

メインの話し手の作業はそんなに重荷？

メイン
Video 1 (2015年8番)

その他
Video 2 (2015年9番)

20

考えられる原因

- 発話の量
- 発話の長さ
- 作業内容
- 立場（メイン vs. その他）？

21

メインの話し手がなぜこんなに非流暢なのか、「発話の権利」から考えてみます。

22

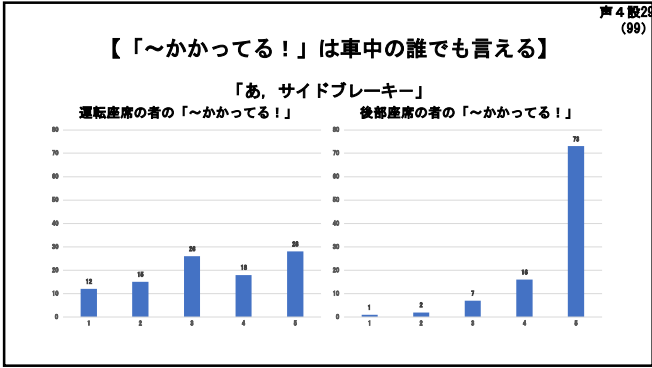
知識更新の「た」を発する権利

みんなでドライブに行こうと、A・B・C・Dはレンタカーの店に集まり、店が用意したレンタカーに乗り込んだ。運転は交代でおこなう予定で、まずAが運転座席にすわり、B・C・Dは他の座席にすわった。

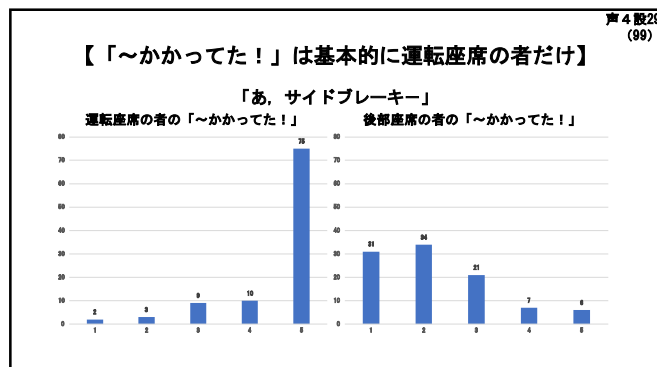
だが、出発しようとしても、なぜか車は動かない。「キーは刺さってるよね」「燃料はあるな」などと、4人で原因を探すが、よくわからない。

そのうちに、〔運転座席のA／後部座席のB〕が原因を発見する。レバー式のサイドブレーキがかかったままになっているのだった。

23



24



25

分野間の交流 視野の広がり 観察の深まり

1：記述言語学とコーパス言語学

2：言語学と会話分析

3：言語学・言語教育学・言語障害研究・音声合成

26

④母語話者は非流暢な発話パターンを間違わない

(1) A：123足す456は？
B：あの一579。
え一と579。

(2) 親：わかったか！
子：【下降調で】はい
【上昇調で】はい

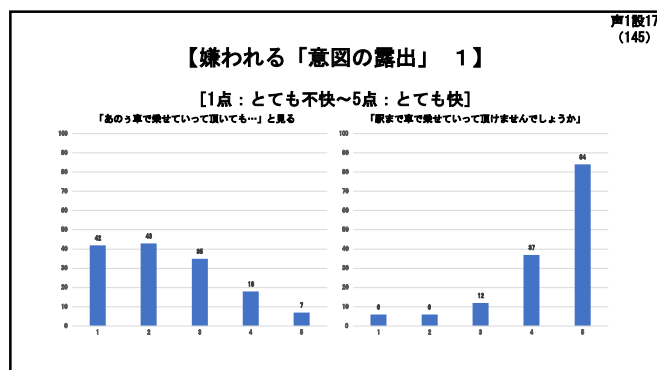
感動詞・イントネーション・非流暢な発話パターン なぜ？

27

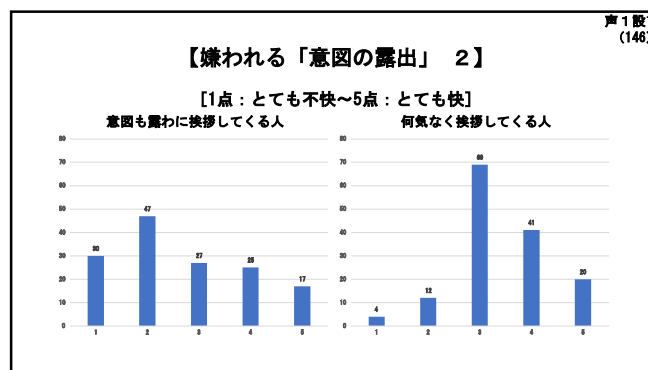
先行研究「発話には必ず発話意図がある」

- キャラ (kyara, 状況に応じて非意図的に変わる人間の部分)
「大学一年の女です。私は相手によって性格というかキャラが**変わってしま**う**よう**で、そのことで最近**ずっと悩んで**います…。変わってしまうと言っても、嫌な人に対して愛想悪く接するとか、そういうことではありません。ある人にはいじられ、ある人の前では盛り上げ、ある人の前では控えめに…というような感じです。」
[https://detail.chiebukuro.yahoo.co.jp/qa/question_detail/q1244934162]
[定延利之 2020 『コミュニケーションと言語におけるキャラ』東京：三省堂]
- AIは話し手の音声をキャラごとに学習
- 「Baillarger-Jacksonの原理」：非意図的に発せられることばは言語喪失に対して頑健
[山島重1985『神経心理学入門』東京：医学書院]

28



29



30